

2019年度（2020年3月期） 第1四半期連結決算概要

1.2019年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 増収減益：増収は2期ぶり、減益は2期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	+227百万m ³	工業用（発電専用）需要家の稼働増 低気温影響による家庭用需要増
電力販売量	+608百万kWh	小売件数増による販売量増
売上高	+658億円	原料費調整に伴う単価増および販売量増などによる「ガス」の売上増 +523億円 小売電力販売量増などによる「電力」の売上増 +190億円
営業費用	+450億円	原油価格上昇影響および販売量増による「ガス」の原材料費等増 +300億円 小売電力販売量増に伴う「電力」の営業費増 +193億円
営業外損益	+36億円	受取配当 +28億円 持分法による投資利益 +13億円
特別損益	△291億円	:(当期) 発生なし :(前期) 固定資産売却益 +291億円

<2019年6月末現在連結会社数：連結子会社 76社、持分法適用関連会社 14社> (単位:億円)

決算実績表	2019年度1Q	2018年度1Q	増減	%
売上高 (歴代4位)	4,672	4,014	658	16.4
営業費用	4,231	3,781	450	11.9
営業利益 (歴代7位)	440	232	208	89.1
経常利益 (歴代5位)	483	240	243	101.4
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代5位)	349	377	△28	△7.4

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	67	△122	189
年金数理差異償却額影響	△19	△11	△8

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2019年度1Q	2018年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	109.90	109.10	0.80
原油価格(\$/bbl)	71.48	70.65	0.83
平均気温(°C)(※)	16.7	17.9	△1.2

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

(2)都市ガス・電力販売量

		2019年度1Q	2018年度1Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	808	778	30	3.8
	業務用	百万m ³	555	549	6	1.1
	工業用	百万m ³	1,587	1,335	252	18.9
	計	百万m ³	2,142	1,884	258	13.7
	他事業者向供給	百万m ³	422	483	△61	△12.6
	合計	百万m ³	3,372	3,145	227	7.2

家庭用：低気温影響による需要増
業務用：低気温影響による需要増
工業用：発電専用需要家の稼働増
他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：9,607 (対前期△582) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。
取付メーター数(千件)：11,838 (対前期+136) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2019年度1Q	2018年度1Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	1,644	1,136	508	44.7
	卸他	百万kWh	2,221	2,120	101	4.8
	合計	百万kWh	3,865	3,257	608	18.7

小売：件数増による販売量増
卸他：卸供給先増等

(3)セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2019年度1Q	2018年度1Q	増減	%	2019年度1Q	2018年度1Q	増減	%
ガス	3,430	2,907	523	18.0	462	240	222	92.6
電力	721	531	190	35.7	19	23	△4	△16.0
海外	109	121	△12	△10.3	36	47	△11	△23.2
エネルギー関連	705	743	△38	△5.1	7	26	△19	△70.3
不動産	111	110	1	1.2	31	24	7	28.3
その他	262	203	59	29.0	12	1	11	—
調整額	△668	△603	△65	—	△112	△125	13	—
連結	4,672	4,014	658	16.4	457	237	220	92.8

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等。
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エネルギーソリューション事業(エネルギーソリューション、エネルギーサービス)、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数 (単位:億円、%)

	2019年度1Q	2018年度1Q	増減		2019年度1Q	2018年度1Q	増減
設備投資	407	601	△194	D/Eレシオ	0.76	0.69	0.07
営業キャッシュ・フロー	755	769	△14	ROA	1.4	1.6	△0.2
有利子負債	8,841	8,032	809	ROE	3.0	3.3	△0.3

(注)有利子負債、D/Eレシオは2019年3月末との比較

2.2019年度 通期見通し <対前回(4.26)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 変更なし(対前期 増収増益：純利益ベース)

通期見通しについては、前回から変更はありません。								
--------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位:億円)								
	今回	前回	増減	%	2018年度	増減	%	
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,541	14,541	0	0.0	15,198	△657	△4.3	
電力販売量(百万kWh)	19,941	19,941	0	0.0	15,482	4,459	28.8	
売上高	20,430	20,430	0	0.0	19,623	807	4.1	
営業費用	19,210	19,210	0	0.0	18,686	524	2.8	
営業利益	1,220	1,220	0	0.0	937	283	30.2	
経常利益	1,200	1,200	0	0.0	893	307	34.2	
親会社株主に帰属する当期純利益	860	860	0	0.0	845	15	1.7	

経済フレームほか	今回	前回	増減	2018年度	増減
為替レート(¥/\$)	110.00	110.00	0.00	110.92	△0.92
原油価格(\$/bbl)	70.00	70.00	0.00	72.12	△2.12
平均気温(°C)	15.9	15.9	0.0	17.0	△1.1
スライドタイムラグ(億円)	91	91	0	△250	341

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(2Q以降) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	31	39	△8
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	27	41	△14